

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 22 年度 第 8 回常任理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 22 年 10 月 25 日 午後 6:30～午後 8:35  
2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室  
3.理事総数 10 名  
4.出席者数 5 名（書面表決書 0 名）  
出席者（佐藤文宏、保原幸夫、山西哲郎、宇佐美彰朗、野口勝宏 敬称略）  
5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

- 第 1 号議案 前回常任理事会（9 月 27 日開催分）議事録に関する件（報告）  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告）  
議事録署名人として山西哲郎氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 「2010メルボルンマラソン」について（報告）  
保原氏より現地での活動状況および収支見込みについて報告があった。

■活動状況

- ・受付は政府観光局の岩崎氏およびアルバイト女性によってスムーズに行われた。
- ・モーニングランは野口氏の指導のもと、日本からの参加者に加えて現地在住の日本人、タイ在住の日本人の方の参加もあり、好評を得ることができた。日本語版のHPで情報を得ての参加だということだった。
- ・現地で人気のレストランを経営している光永さんの好意で、モーニングラン終了後にヤラ川河川敷の公共BBQ場でBBQを開催し、10数名の方に楽しんでもらった。
- ・完走パーティは河口湖マラソン派遣選手のお世話をしているコリーンさんを始め、数名のオーストラリア人、現地在住の日本人の方を含め約40名の参加で、大いに盛り上がり、交流目的を達成できたと思う。
- ・パーティではクリールの樋口編集長が撮影した写真も紹介された。11月発売のクリールにメルボルンマラソンの記事が掲載される予定である。
- ・パーティの様子は「GO豪メルボルン」という現地メディアの取材を受け、後日ネットに記事がアップされた。  
(走ることを通じた人と人とのコミュニケーションを~メルボルンマラソン・日本人ランナーによる完走パーティー~  
<http://www.gogomelbourne.com.au/sports/marathon/2521.html> )
- ・2008年メルボルンマラソンの優勝者で現地在住の田上さんの骨折りで光永さんを始め数名のキーパソンとのパイプができたことが今年の収穫であった。来年の活動につなげて行きたい。

#### ■野口氏からの要望

- ・レース後のミーティング場所の設置については改善する必要がある。(待ち合わせがうまくいかなかった)
- ・スタート時間の改善が必要だと感じた。(ハーフマラソンのランナーと重なって、マラソンのランナーが走りにくい場面があった) 本部に要請してほしい。

#### ■日本からの参加者数

- ・J S I E 経由の参加者は39名だったが、大会本部からのデータによると日本住所の参加者は外人を含め56人だった。
- ・ヘラルド・サンンの完走記録から日本人名をピックアップした結果、現地在住の方も含めると日本人参加者は150名程度と思われる。来年は何らかの方法で現地在住の日本人ランナーとの交流も検討したい。

#### ■日本事務局収支予算

オフィシャルツアーを担当した高橋氏の海外旅行開発に協賛金について検討をお願いしていて、まだ正式の回答は頂いていないが、当初通り2万円とすれば約7万5千円程度の赤字決算となりそうである。

#### ■大会本部 (IMG) との打合せ

大会翌日、今年の反省および来年の活動について IMG および政府観光局と打合せを行った。

- ・IMGとしては来年も J S I E に日本事務局を依頼したいとのこと。  
今年の反省を踏まえ、プロモーション活動をできるだけ早く開始する意味で、10月中には契約書のドラフトを提示して貰うことにした。
- ・今年の赤字を解消する意味においても、継続して引き受けたいと思うので、次回には契約書ドラフトの内容について審議をお願いしたい。
- ・提携マラソン大会、招待選手等について基本的な考えを確認したところ、一応基準はあるが1件ごとに検討するので、案件が出てきたら相談してほしいとのこと。
- ・東京マラソンの EXPO にブースを出す等、6,000ドルの範囲ではできないプロモーション活動については、1件毎に検討するので、費用と期待効果を明確にして提案して欲しいとのこと。

#### 第4号議案

「2011アラフラゲーム」、「アラフラクラブ」について (報告・審議)

#### ■大会本部からの連絡

- ・オーギー・フットボールとネットボールについてはオープン種目として前向きに検討している。
- ・スカッシュが正式種目に復活しそうである。
- ・オンライン申込システムを構築中であり、11月からエントリー開始の予定である。
- ・HPの各国語版を準備中である。

#### ■アラフラクラブ

- ・岡田 (英) 氏が募集用チラシを作成中である。
- ・11月初旬に幹事会を開催し、募集活動について話し合う予定である。

第5号議案

「2011市民ランナー交流セミナー」について（報告・審議）

野口氏より午前中のプログラム案について説明があり、審議を行った。

■午前中のプログラム

- ・皇居周回コースで駅伝大会を実施する。趣旨としては、東京マラソン2週間前にマラソンペースを体験して、東京マラソンの準備の一環とすることとし、宣言タイムレースとする。
- ・運営は保原氏の知人の団体に一任し、募集はスポーツエントリーに依頼する等してできるだけ手間暇かからないような形とする。手配は保原氏が担当する。
- ・募集はアミノバリューランニング・クラブ等へのチラシ配布のほか、11月発売のクリールに募集記事を掲載する。併せてクリールの樋口編集長のブログにも掲載して貰う。
- ・チラシには午後の部の帖佐先生の東京マラソン関連の講演がある旨を明記し、参加を呼び掛けることとする。
- ・タイトルは「国際交流駅伝大会」とし、南蛮連合等を通じて在日外国人チームの参加を募集することで、JSIE主催の企画らしいものにする。

■午後のプログラム

- ・「世界の市民マラソンと東京マラソン」（仮題）で帖佐先生に講演を頂く。
- ・11月下旬に山西氏が帖佐氏と講演の内容等について打ち合わせる予定なので、その内容を踏まえてセミナーのチラシを作成する。
- ・講演に関しては指導者等参加して欲しい方には個別に案内を出すことにする。併せて、午前中の駅伝参加者にも参加を呼び掛けることにする。
- ・講演会後の懇親会の参加者募集はこの段階で行うことにする。
- ・懇親会はクオリティタイムで行うこととし、参加者を確認後準備を行うことにする。

第6号議案

その他

今回は時間の関係で審議を次回に延期することにした。

■次回常任理事会について

次回の常任理事会は、11月29日（月）に開催する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時35分議長は閉会を宣言し散会した。

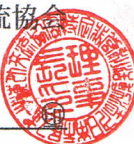
上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成22年10月25日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

佐藤文宏



議事録署名人

山西哲郎



議事録署名人

保原幸夫

